

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事業提案書

【申請団体】

申請団体名	特定非営利活動法人 野馬土
(申請団体の) 代表者の職・氏名	代表理事 三浦広志

【団体情報】

団体ホームページ	http://www.projctnomado.com
----------	---

※情報公開を行っておらず、かつ公開する見込みのない団体については応募できません。

1 事業名

6号線の既設フリースペース（カフェ野馬土）を活用した地域活性化事業

2 事業の目的及び地域課題（200字以内）

<p>震災から4年、避難先で新生活を始めた人がいる一方、将来に迷い仮設を出られない人もいる。暮らしのカタチは様々だが、安心して暮らせるコミュニティを今後どうやって作っていくかが被災者の共通した課題である。野馬土は、カフェ野馬土を誰もが集い交流できる場として提供して人のつながりを醸成し、被災者を含む地域の人々が安心して暮らせるコミュニティづくりをサポートしていく。また地域づくりを推進する人材の育成、世界へ向けての情報発信も並行して取り組む。</p>

3 事業の必要性（200字以内）

<p>仮設では、入居者の高齢化や自治会のスタッフや居住者の減少によるマンパワー不足などの課題が生まれている。同じ課題を持つ人々が集い語り合うことが、課題克服の源である。「誰もがいつでも気軽に集い、話し、笑い、未来を語り合える場づくり」すなわちカフェ野馬土の事業が、これらの課題を解決して豊かなコミュニティを築くために必要である。</p>
--

4 事業内容

【実施取組1】

交流学習会①寄せ植え講習会	
主な活動地域：相馬市 新地町	実施期間：H27/7月
<p>気軽に立ち寄れるカフェ野馬土の立地を生かし、気軽に参加できるイベントをこまめに開催して交流のきっかけをつくる。毎回野馬土スタッフが講師となりNPOを知る学習会も行う。交流学習会第一弾として、7月に花苗の寄せ植え講習会を行う。</p>	

【実施取組2】

交流学習会②おしゃべり料理教室	
主な活動地域：相馬市 新地町	実施期間：H27/10月
<p>昨年度好評だった料理教室を今年度も行う。料理研究家を招き、地元食材を使ったレシピを学びながらおしゃべりを楽しみ、新しい仲間づくりをしてもらう。</p>	

【実施取組 3】

交流学習会③手づくり昔あそび教室 対象：仮設の中高年層	
主な活動地域：相馬市 新地町	実施期間：H27/11月
高齢者と子供たちがいっしょに遊ぶ場をつくる。講師を招き、昔あそびのやり方や必要な道具作りなどをする。仮設にいる高齢者、市内保育園児、幼稚園児を集める。	

【実施取組 4】

交流学習会④そば打ち教室 対象：中高年層	
主な活動地域：相馬市 新地町	実施期間：H27/12月
NPO法人シニア人材倶楽部さんの蕎麦打ちサークルから講師を招き、そば打ち講習会を開催する。中高年層が対象。	

【実施取組 5】

交流学習会⑤バレンタインお菓子教室	
主な活動地域：相馬市 新地町	実施期間：H28/2月
お母さんと子どもが対象。お菓子づくりのプロの技術に触れ、実際に作って楽しんでもらう。	

【【実施取組 6】

情報発信イベント①こども夏まつり	
主な活動地域：相馬市・新地町	実施期間：H27/8月
こどもを主役に老若男女が集まり交流する。仮設居住者や県外ボランティアに運営を手伝ってもらい運営を通して交流を深める。仮設居住者には謝金、県外ボランティアには宿泊費を用意する。	

【実施取組 7】

情報発信イベント②感謝祭	
主な活動地域：相馬市・新地町	実施期間：H27/10月
野馬土3周年を感謝するイベント。他県から運営スタッフを募り、20km圏内ツアーと連携するなど昨年以上の交流効果を図る。仮設居住者や県外ボランティアに運営を手伝ってもらい運営を通して交流を深める。それぞれに謝金、宿泊費を用意する。	

【実施取組 8】

スペースレンタル事業	
主な活動地域：相馬市・新地町	実施期間：H27/6月～H28/3月
カフェ野馬土を、団体、個人に時間貸しする事業。多様な活動にカフェ野馬土のスペースを活用してもらおう。※カフェ野馬土のスペースを広く使えるよう内装を改良する工事を行う。	

【実施取組 9】

福島第一原発 20km 圏内ツアー	
主な活動地域：浜通り地域	実施期間：H27/6月～H28/3月
20km 圏内の状況をひとりでも多くの人に知ってもらうため、昨年に引き続き請戸町を中心に案内を行う。	

5 事業効果（各200字以内）

当事者だけでは解決できない問題も、他者の意見や事例に触れることで、解決の糸口が見つかる。カフェ野馬土が交流の場を提供することで、さまざまな情報交換を行われるようになり、地域の問題解決に結び付く。この積み重ねが豊かなコミュニティをつくる。7回の交流学習会で140人の交流を実現する

【情報発信力】8月のこども夏まつりでは、相馬市内の小学校幼稚園保育園に6000枚のチラシ配布を行う。11月の感謝祭では、10000部の新聞折り込みを相馬市と新地町に入れる。いずれも福島民友、福島民報、いわき新報へ記事掲載を依頼する。ホームページでも告知する。2つの情報発信イベントで合計800人（実施者+参加者）を目指す。

6 実施団体の運営力強化（各200字以内）

【人材育成の観点】本年度の事業開始にあたり、NPOの基礎を学ぶ会を外部専門家を招いて行う予定であり、今後の事業推進の心構え、ノウハウの獲得が見込まれる。

【ネットワーク形成の観点】交流学習会では新たにNPOシニア人材倶楽部や仮設自治会等の協力のもとに実施予定であり新たなネットワーク構築につながる。

7 事業スケジュール（月ごと、箇条書き）

月		
6月		
7月	取り組み1：寄せ植え講習会	
8月	取り組み6：こども夏まつり	
9月		
10月	取り組み2：おしゃべり料理教室	取り組み7：感謝祭
11月	取り組み3：手づくり昔あそび教室	
12月	取り組み4：蕎麦打ち教室	
1月		
2月	取り組み5：バレンタインお菓子教室	
3月		

(注) 取り組み8:スペースレンタル事業と取り組み9:福島第一原発20km圏内ツアーは通年(6月~3月)行う。

8 事業の実現性について（200字以内）

野馬土は、カフェ野馬土の活用事業を25年度、26年度と行った実績があることから申請事業の遂行については問題は無い。

9 事業終了後の展開・発展性（200字以内）

カフェ野馬土の活用事業については、豊かなコミュニティづくりのために平成28年度以降も引き続き実施していく予定である。本年度から開始した再生エネルギー事業により売電収入を得て自主財源として活用していく。

10 事業の先進性・普及性（200字以内）

実施企画に応じて提携先を次々と開拓してネットワークを広げていく点が先進的であり、獲得したノウハウを、カフェ野馬土に集う団体に逐次提供できる点も普及の点で意義がある。

11 特記事項（アピールポイントなど）（200字以内）

現在建設中の太陽光発電設備が12月に100%稼働開始する。売電収益を自主財源として10年後、20年後もふくしま復興のために働けるよう頑張ります。

12 その他の助成金について

① 当該申請事業について、他の助成金も受けている。	はい/いいえ
② 他の助成金を受けているが、当該申請事業と明確に区分することができる。	はい/いいえ

第3号様式（第4条関係）

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 収支予算書

申請者名 特定非営利活動法人 野馬土

【支出の部】 明細の丸数字は、実施取組の番号 (単位：千円)

区 分	平成27年度 予 算 額	明 細
人件費(共済費を含む)	1,900	200,000×9.5か月(27年6月～28年3月)
報償費	529	①寄せ植え講師9,000②料理講師28,000③昔遊び講師9,000×2人④蕎麦打ち講師9,000×2人⑤菓子作り講師28,000⑥バルーンアートパフォーマー28,000・当日スタッフ謝礼5,000×30人⑦ステージ出演者謝礼5,000×20人・当日スタッフ謝礼5,000×30人
旅費	442	①寄せ植え講師2,000(クルマ近隣)②料理講師61,000(JR東京宿泊アシスタント1人含む)③昔遊び講師2,000(クルマ近隣)④蕎麦打ち講師10,000(クルマいわき高速)⑤料理講師61,000(JR東京宿泊アシスタント1人含む)⑥バルーンアーティスト6,000(クルマ仙台高速) 県外からのボランティアスタッフ宿泊費150,000 県外からのボランティアスタッフ宿泊費150,000
需用費 a1+b1+c1	469	
消耗品費 a1	370	①苗用土等40,000②食材15,000③工作材料10,000④蕎麦材料20,000⑤菓子材料20,000⑥拡声器79,000アイス&コーン・そうめん・容器31,500おもちゃくじ40,000金魚40,000すくい網・プラ舟・容器9,500⑦屋台材料肉野菜50,000容器15,000
燃料費 b1		
印刷製本費(チラシ用紙、イベントPOP用紙代をここに入れました。) c1	99	①チラシ用紙15,000②チラシ用紙15,000③チラシ用紙4,000④チラシ用紙15,000⑤チラシ用紙15,000⑥チラシ、会場POP用紙10,000⑦チラシ、会場POP用紙25,000
役務費 a2+b2+c2	150	
通信運搬費 a2	130	チラシ折り込み代として①23,000②23,000④23,000⑤23,000⑦38,000
手数料 b2		
保険料 c2	20	⑥10,000⑦10,000
使用料及び賃借料	146	②花瓶等装飾品レンタル3,000⑥駐車場15,000レンタカー15,000⑦駐車場15,000レンタカー15,000音響設備70,000

		椅子 6,000 ガスコンロ 4,000⑤花瓶等装飾品レンタル 3,000
委託料	142	チラシデザイン代として①10,000②10,000③10,000④10,000 ⑤10,000⑥10,000⑦10,000 会場警備代として⑥36,000⑦ 36,000
A. 支出合計	3,778	千円未満切捨

【自己資金の部】※自己資金は支出合計の2割以上が必要です。

(単位：千円)

区 分	平成27年度 予 算 額	明 細
自己資金（負担者名）	756	
寄付金等	756	
その他収入 a3+b3+c3		
B. 自己資金合計	756	千円未満切捨

【補助金交付申請額】 3,022 千円 (A. 支出合計－B. 自己資金合計)

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。
- 注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。